



子ども大学学生新聞

第4号

子ども大学

かわごえ新聞部

日本は豊かなのか貧しいのか

池上彰先生が問いかけ、考えさせる授業

三月二日土曜日、東京国際大学第一キャンパス314教室で、東京工業大学・池上彰教授による「日本は豊かか貧しいか」という授業が行われました。出席者は小学四年生五〇人、五年生四五人、六年生四三人の



(中原記者写す)

一三〇人。保護者は一〇二人、兄弟は二八人。合計二八六人で、いつもより多く、みんな池上先生の授業を聞きたいのかなと思いました。

一時間目は、池上先生が行った国の名前を、みんなでクイズのように当てました。カナダ、アメリカ、ロシア、中国、サウジアラビア、レバノン、スワジランド、ナミビア、アイスランド、イギリスなど、あわせて、なんと六四カ国!

「民主」という国名がついている国は危ないといった話も入っていて面白かったです。(中原大知記者 田小五年)

水くみのため学校に行けない

二時間目は、本題の「日本は豊かか貧しいか」という説明がありました。そこで、水や電気などの話がありました。

日本は、水道から水が出てくること、そしてその水が飲めることがあたりまえです。しかし、アフリカなどでは、一時間以上もかけて、川の水をくみに行かなくてははいけないところもあるそうです。

それらの仕事は、女性や子どもが行い、一日に二回、三回と水をくみに行かなくてははいけません。そのた

め、子どもたちは学校に行くことができませぬ。このような国から見た日本は、とても豊かだと言えます。さらに、日本は電気がつくことがあたりまえです。しかし、池上先生が過去に行ったことのあるケニアという国では、国民の二割しか、電気がつく生活をしていないそうです。そのような国から見ても、日本は豊かな国だと言えます。

日本はお金を貸す国際援助

その次に、大学の授業でいう「国際援助論」について、説明がありました。貧しい国に援助をする時、日本は、お金を直接あげるのではなく、貸してあげる方法をとっているそうです。

それはなぜでしょう。お金をあげてしまうと、援助をしてくれる国にたよりすぎてしまうからです。お金を貸してあげることによって、そのお金を返そうとし、一生懸命働くことで、その国が発展します。日本も昔、新幹線や高速道路をつくる時に、世界銀行から支援を受けて、ここま

難民に食料引換券を渡す

で発展してきました。

それから、食べ物の援助による問題の話もありました。その例として、Aという国に、Bという国の難民がにげてきて、食料の援助を受けているとします。すると、無料で食料をもらった難民は、お店で食料を買いません。そのため、Aという国の利益が出なくなり、その国の人から、差別を受けてしまうことも考えら

れます。

そこで、そうならないためにも、WFP(世界食糧計画)が、いいアイデアを思いつきました。それは、食料引き換え券をつくるというアイデアです。難民の人がお店に行つて、引き換え券を出すと食料がもらえ、そのお店の人がWFPに引き換え券を持って行くと、お金にかえてくれるしくみです。こうすることによって、難民の人を救えることができ、お店も利益を得ることができるようです。

お金の援助から投資へ

池上先生は、単に、お金を援助するのではなく、その国が自分たちで発展できるように援助をすることが大切だと教えてくれました。また最近では、援助することから、投資をすることへと変わってきているそうです。

みなさんは、日本の国が、豊かだと思えますか、貧しいと思えますか。私は、日本は豊かだと思えます。理由は、日本には品物がたくさんあり、ほしいものが手に入るからです。また、戦争はしないと憲法に定められているほど、平和な国だと思っております。

(森千賀子記者 浦和別所小六年)

授業を聞いて

☆学生の感想

◇小林瑞宜(こばやしみずき)君 高階南小四年

Q 今回の授業はどうでしたか?

A 池上さんの話していた内容が
とても面白かった。

Q 具体的にどんなところがおも
しろかったですか？

A アフリカの援助のこと。
（川村弘希記者Ⅱ中央小4年）

◇佐々木聡史（ささきそうし）君Ⅱ
高階西小4年

Q このじゆぎようで思ったこと
はなんですか。

A しえん（支援）はそのままにす
るのではなく、どりよくさせる
ということですか。

Q このじゆぎようで、一番心に残
ったことはなんですか。

A かわいそうだから、しえんする
のではなくて、かわいそうだか
らこそ、自分たちでできるよう
にしてあげるということです。
（斉藤和泉記者Ⅱ大塚小5年）

◇福岡 礁（ふくおかしょう）君Ⅱ
新宿小5年「日本は豊かと思
いがちだが、実際、心としては、
とても貧しい国だよ、というこ
とを改めて知らされました」

◇私の感想「わたしは、日本は豊か
だと思いません。理由は、日本は
つねに新しいものがたくさん
あるし、それを日本中のたくさ
んの人たちが買っているの
お金もまわっているんだな
と思うからです」（土田真由香記
者）

◇土田ゆうや君Ⅱ山田中1年「日本
は豊かな面もあるが、その豊か
さが人の心を貧しくしている

のではないか。たとえ豊かでは
なくても、みんなの心が豊かで
あれば、その国は豊かだと言
えると思う」

◇私の感想「きれいな水ものめるし、
でんきもついていて、幸せだな
と思いました」
（小島未来記者Ⅱ福原小4年）

☆保護者の感想
◇東島久実（ひがしじまくみ）さん
（専業主婦）

Q 今回の授業はどうでしたか？

A すごく面白かった。

Q どのところが面白かったで
すか？

A 子どもに、豊かか貧しいかを考
えさせて、結論がどちらもだっ
たのが面白かったです。
（川村弘希記者）

◇宇野みのるさん（会社員）「ずい
くわかりやすかった」

◇黒飛（くろと）たかゆきさん（会
社員）「テレビでよく見られる
池上先生の話が子どもたちと
いっしょに聞いたことがよか
った」
（佐野寛太記者Ⅱ高階小4年）

◇戸田さん（小学校の先生）

Q 子どもに分かりやすかったと
思いますか。

A 分かりやすかったと思う。

Q どのような所ですか。

A 後ろから見ている、先生の話を
聞きたいという学生の思いが
伝わってきた。（中原大知記者）

池上先生に突撃インタビュー



（中原記者写す）

Q まずは、なぜこのテーマで授業
をしたのですか。

A 酒井理事長から言われたので
すよ。みんな日本が貧しいと思
っているからみたいよ。

Q 子どもたちの夢は何ですか。

A 新聞記者だね。小学六年生のと
きに「地方記者」という本を読
んで、わくわくしておもしろい
仕事だなと思ったの。NHKに
入り、それから三三年間、ずつ
とこの職業についています。

Q ジャーナリストという仕事は、
どこがおもしろいのですか。

A 知らないことを知ることがで
きるからね。

Q 何から情報を得ていますか。

A 新聞です。新聞を一〇紙とって
います。一日で全部は読めませ
んが、朝の食事のときに一ペー

Q

Q ジ目からパラパラ読みます。次
に仕事が終わってから寝る前
に読み、いい記事は紙面を破つ
て保存し、あとで切ってスクラ
ップしています。

☆卒業する6年生記者の感想
◇中原大知記者

私は編集長を務めさせていただ
きました。いい新聞を作らなけれ
ばという責任感を感じつつ、みな
で作る楽しさや、やりがいもあり、
とても充実した四カ月間でした。

◇森千賀子記者

新聞記事を書くことによって、そ
の日の授業を復習することにもな
ったので、よかったです。ま
た、学生にインタビューすることで、
他の人の意見を聞いたこともよか
かったです。わかりやすく記事を書
くことは、少し難しかったけど、楽
しかったです。協力して作った新聞が
できた時は、達成感がありました。

♥新聞記者 大ぼしゅう♥

新聞部の記者をぼしゅうしています。
じゆぎようのないようをまとめたり、
学生やほごしやにかんそうをきいたり、
先生にインタビューします。申し込み
は、じむきよくへ。